

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和3年6月25日

京都府知事様



提出者 日本板硝子株式会社 舞鶴事業所
住所 京都府舞鶴市大波下小字浜田255番地
氏名 事業所長 橋本 潤一
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 0773-62-2351

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和2年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	日本板硝子株式会社 舞鶴事業所
事業場の所在地	京都府舞鶴市大波下小字浜田255番地
事業の種類	21：窯業・土石製品製造業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	6207.976 t	全処理委託量	6207.976 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t	優良認定処理業者への処理委託量	916.65 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	再生利用業者への処理委託量	6152.726 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	- t	認定熱回収業者への処理委託量	47.96 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	- t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	- t
※事務処理欄			

(日本工業規格 A列4番)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木くず)

1

(第2面)

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類:木くず)	
項目	実績値	項目	実績値
① 排出量	400.985	②+⑧自ら再生利用を行った量	400.985
② 自ら直接再生利用した量	③	④+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	400.985
③ 自ら中間処理した後再生利用した量	⑤	⑤+⑩自ら中間処理により減量した量	400.985
④+⑪のうち再生利用業者への処理委託量	⑥	⑥+⑪のうち熱回収を行った量	400.985
⑤+⑫自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	⑦	⑦+⑬自ら中間処理により減量した量	400.985
⑧+⑭自ら中間処理した後再生利用した量	⑨	⑨+⑮自ら中間処理により減量した量	400.985
⑪+⑯のうち再生利用業者への処理委託量	⑩	⑩+⑰自ら中間処理により減量した量	400.985
⑫+⑯のうち熱回収を行った量	⑪	⑪+⑲のうち優良認定処理業者への処理委託量	5.920
⑬+⑯のうち熱回収を行った量	⑫	⑫+⑲のうち再生利用業者への処理委託量	400.985
⑭+⑯のうち熱回収を行った量	⑮	⑮+⑲のうち熱回収を行った量	5.920

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃油)

不要物等発生量	有償物量
---------	------

項目	実績値	自ら中間処理した量	自ら中間処理による減量	直接及び自ら中間処理した後の残さ量	自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	自ら中間処理した後再生利用した量	自ら中間処理した後再生利用した量
①排出量	72.110	④	⑥	⑨	⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量 53.190	⑪のうち再生利用業者への処理委託量 72.110	⑫のうち再生利用業者への処理委託量 72.110
②+⑧自ら再生利用を行った量		④のうち熱回収を行った量 53.190	⑥のうち熱回収を行った量 53.190	⑨			
⑤自ら熱回収を行った量			⑦自ら中間処理により減量した量				
⑦自ら中間処理により減量した量							
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量							
⑩全処理委託量	72.110						
⑪優良認定処理業者への処理委託量	72.110						
⑫再生利用業者への処理委託量	72.110						
⑬熱回収認定業者への処理委託量	53.190						
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量							

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：廃電池類)

有償物量
不要物等発生量

不要物等発生量
自ら直接 再生利用した量 ②

排出量
自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量 ③

自ら直接処理した後 再生利用した量 ⑧

項目	実績値	自ら中間処理 した量	自ら中間処理した 後の残さ量	自ら中間処理による 減量した量	直接及び自ら 中間処理した後の 処理委託量	⑩のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量	⑪のうち優良認定 処理業者への 処理委託量
①排出量	0.207	④	⑥	⑨	⑩	⑫	⑭
②+⑧自ら再生利用を行った量							
⑤自ら熱回収を行った量		④のうち熱回收 を行った量 ⑤		⑦			
⑦自ら中間処理により減量した量							
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量							
⑪全処理委託量	0.207						
⑫優良認定処理業者への 処理委託量	0.207						
⑬再生利用業者への処理 委託量	0.207						
⑭熱回収認定業者への処 理委託量							
⑮熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処 理委託量							

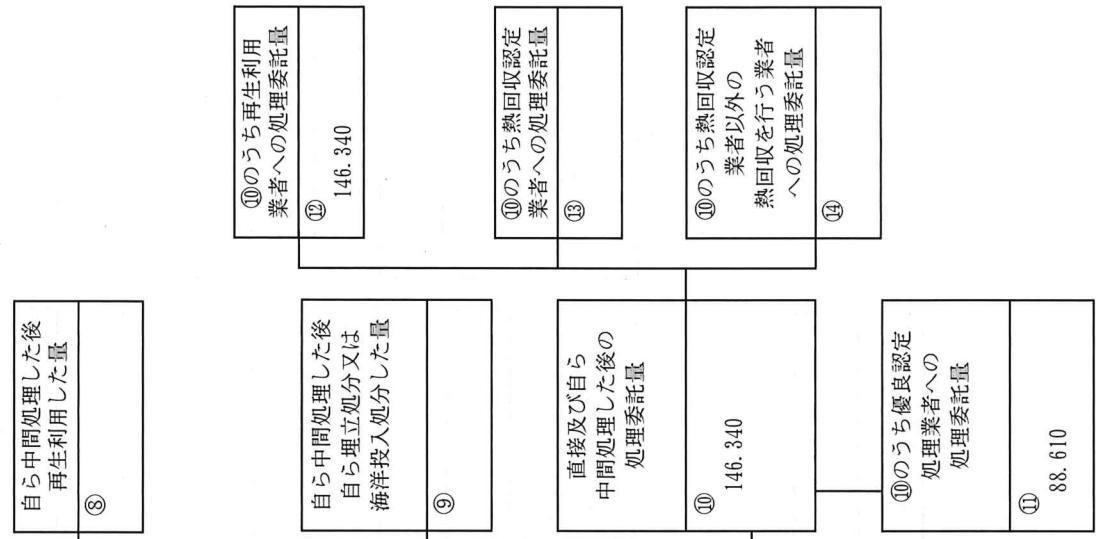
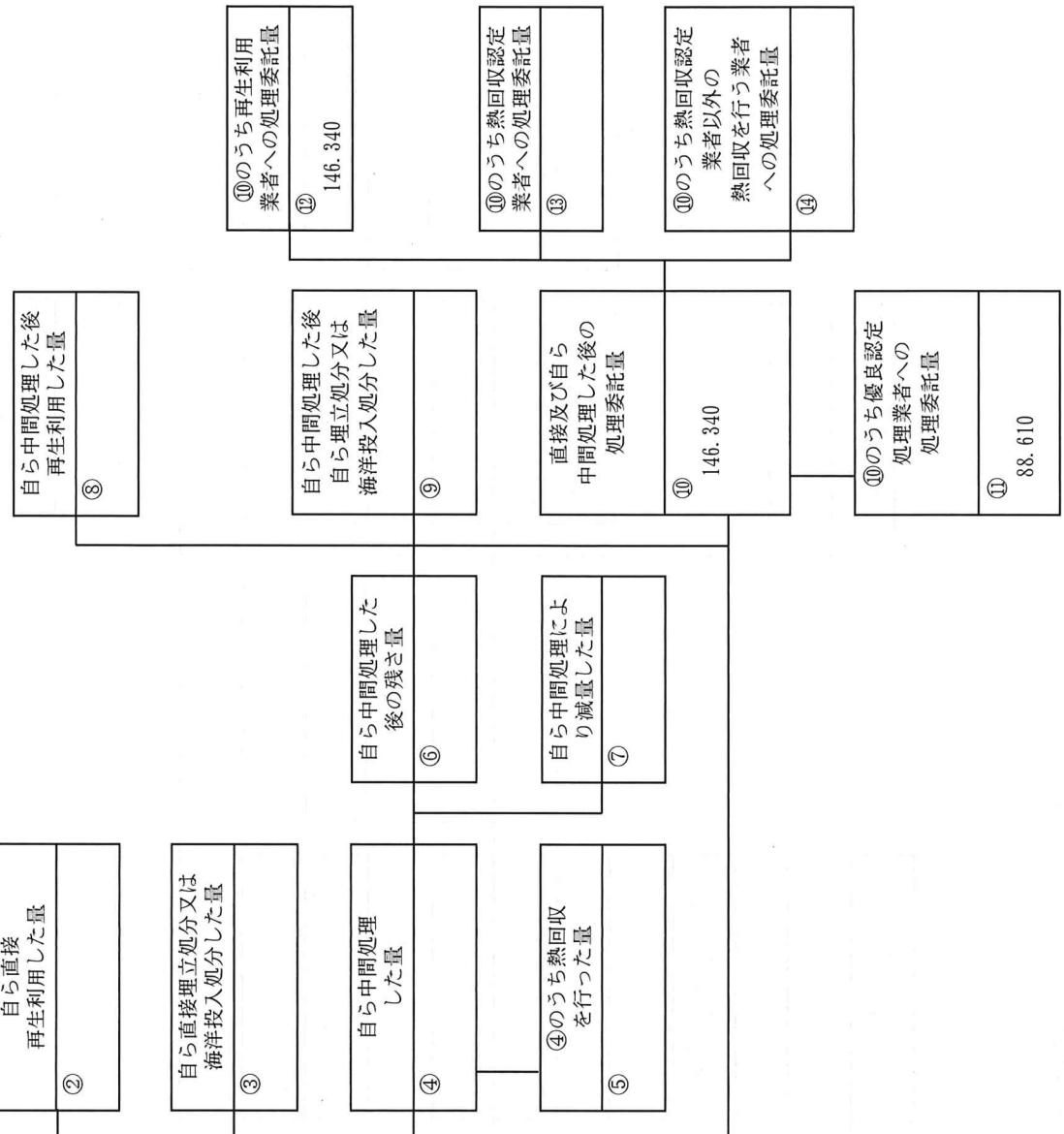
自ら中間処理した後 再生利用した量 ⑧	⑪のうち再生利用 業者への処理委託量 ⑫
自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量 ③	自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量 ⑫ 0.207
自ら直接処理した後 再生利用した量 ⑧	自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量 ⑫ 0.207
自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量 ③	自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量 ⑫ 0.207
自ら直接処理した後 再生利用した量 ⑧	自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量 ⑫ 0.207

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類： 汚泥)	
有 償 物 量	不要物等発生量	排 出 量	① 1455. 279
自ら直接 再生利用した量	自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量	自ら中間処理 した量	② ③
②	③	自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量	④
自ら中間処理した後 再生利用した量	自ら中間処理した後 の残さ量	自ら中間処理 した量	⑤ ⑥
④	⑥	自ら中間処理した後 の残さ量	⑦
②+⑧自ら再生利用を行った量	④のうち熱回収を行った量	自ら中間処理により減 り減量した量	⑧ ⑨
⑤自ら熱回収を行った量	⑤	自ら中間処理により減 り減量した量	⑩ 1455. 279
⑦自ら中間処理により減 量した量		直接及び自ら 中間処理した後の 処理委託量	⑪ ⑫ ⑬
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量		直接及び自ら 中間処理した後の 処理委託量	⑭
⑩全処理委託量	1455. 279	⑩のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量	⑮
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	1160. 039	⑩のうち優良認定 処理業者への 処理委託量	⑯
⑫再生利用業者への処理 委託量	1455. 279	⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量	⑰
⑬熱回収認定業者への処 理委託量		⑩のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量	⑱
⑭熱回収認定業者への処 理委託量		⑩のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量	⑲
		⑩のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量	⑳ 1160. 039

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類：ガラスくず、コンクリートくず)	
有償物量	不要物等発生量	自ら直接 再生利用した量	②
排出量	① 5849.720	自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量	③
項目	実績値	自ら中間処理 した量	④
①排出量	5849.720	自ら中間処理した 後の残さ量	⑥
②+⑧自ら再生利用を行った量		④のうち熱回 を行った量	⑤
⑤自ら熱回収を行った量		自ら中間処理によ り減量した量	⑦
⑦自ら中間処理により減 量した量		直接及び自ら 中間処理した後の 処理委託量	⑩
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量		⑩のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量	⑪
⑩全処理委託量	5849.720	⑪のうち優良認定 処理業者への 処理委託量	⑫
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	4333.05	⑬のうち再生利用業者への 処理委託量	⑭
⑫再生利用業者への処理 委託量	5849.720	⑮のうち熱回収認定業者への 処理委託量	⑯
⑬熱回収認定業者への処 理委託量		⑰のうち熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処 理委託量	⑱
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処 理委託量	4333.05		

計画の実施状況	
(産業廃棄物の種類：廃プラスチック)	
不要物等発生量	有 傷 物 量
	自ら直接 再生利用した量 ②
排出量	自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量 ③
① 146.340	自ら中間処理した量 ④
	自ら中間処理した後 の残さ量 ⑥
②+③自ら再生利用を行った量	④のうち熱回収を行った量 ⑤
⑤自ら熱回収を行った量	自ら中間処理により減 量した量 ⑦
⑦自ら中間処理により減 量した量	直接及び自ら 中間処理した後の 処理委託量 ⑪
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	146.340
⑩全処理委託量	146.340
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	88.610
⑫再生利用業者への処理 委託量	146.34
⑬熱回収認定業者への処 理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処 理委託量	88.610

(産業廃棄物の種類：廃プラスチック)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：廃アルカリ)

有 償 物 量

不要物等発生量

自ら直接
再生利用した量
②

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量
③

自ら中間処理した後
再生利用した量
⑧

排 出 量
① 11,500

項目 実績値

①排出量 11,500

自ら中間処理
した量
④

自ら中間処理した後
再生利用した量
⑨

②+⑧自ら再生利用を行った量

⑤自ら熱回収を行った量

⑦自ら中間処理により減量した量

③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量

⑩全処理委託量

⑪優良認定処理業者への処理委託量

⑫再生利用業者への処理委託量

⑬熱回収認定業者への処理委託量

⑭熱回収を行う業者への処理委託量

自ら中間処理した後の残さ量
⑥

自ら中間処理による減量した量
⑦

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量
⑩

⑪のうち熱回収認定
業者への処理委託量
⑪

自ら中間処理した後
再生利用した量
⑧

⑫のうち再生利用
業者への処理委託量
⑫

自ら中間処理した後
埋立処分した量
⑬

⑭のうち熱回収認定
業者への処理委託量
⑭

自ら中間処理した後
海洋投入処分した量
⑮

⑯のうち熱回収認定
業者への処理委託量
⑯

自ら中間処理した後
熱回収を行った量
⑰

⑱のうち熱回収認定
業者への処理委託量
⑱

自ら中間処理した後
熱回収を行った量
⑲

⑳のうち熱回収認定
業者への処理委託量
⑳

自ら中間処理した後
熱回収を行った量
⑳

㉑のうち熱回収認定
業者への処理委託量
㉑

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。